

## (一社)日本家政学会 2023 年度第 3 回(通算 493 回)理事会議事抄録

開催日時 : 2023 年 9 月 30 日(土) 13:30~18:30

開催場所 : オンライン会議

出席者 : 赤塚会長、薩本副会長、高村副会長、  
藤井副会長、東、川端、倉持、重川、杉山、鈴木、  
高橋、當麻、平林、増渕、松隈、安川、吉川各理事、  
綾部、今川各監事、潮田オブザーバー

### 【議案】

#### 第 1 号議案

(1)入会申込(薩本副会長)

正会員 20 名、学生会員 14 名、賛助会員 1 社の入会を満場一致で承認した。

#### 第 2 号議案 年次大会

(1)2023 年度第 75 回大会(関東支部)の報告及び決算(高村副会長、潮田実行委員長)

大会報告及び決算報告が行われ、満場一致で承認した。

(2)2024 年度代議員総会・第 76 回大会

以下の 1)~3)を満場一致で承認した。

1)概要・プログラム(高村副会長、東実行委員長)

第 76 回大会を期間 2024 年 5 月 24~26 日、会場を眉山女学園大学にて対面開催、臨時理事会、代議員懇談会、代議員総会、全体部会長会、懇親会等も実施する。詳細は今後確定していく。

2)予算(藤井副会長、東実行委員長)

経費削減のため、通信運搬費の契約プランをスタープランに変更する。その他の大会予算については 1 月理事会に再度提出し、継続審議とする。

3)学会誌 巻頭掲載(大会関係)(高村副会長、高橋理事)  
74-10、74-11、75-1 巻頭掲載記事について検討した。

#### 第 3 号議案 2025 年度第 77 回大会、および以降の総会・大会開催(赤塚会長)

第 80 回大会までの大会開催担当一覧が示され、第 77 回大会は会場を横浜国立大学とし関東支部で連携して担当することを満場一致で承認した。

#### 第 4 号議案 2024 年度第 7 回家政学夏季セミナー

1)2023 年度第 6 回家政学夏季セミナー報告及び決算(高橋理事)

9 月 3 日~5 日盛況に終了したと報告および決算報告が行われ、満場一致で承認した。

2)2024 年第 7 回家政学夏季セミナー(高村副会長)

本部企画、「防災と生活」をテーマに開催することが報告され、満場一致で承認した。

#### 第 5 号議案 財務委員会(藤井副会長)

(1)インボイス制度に伴う価格変更案

当面、移行措置対応し 2025 年度適応にむけ、税理士と相談しながらすすめることを、満場一致で承認した。

#### 第 6 号議案 企画・広報委員会(高村副会長)

(1)部会長交代

児童学部会、被服心理学部会の部会長交代を満場一致で承認した。

#### 第 7 号議案 その他

(1)協賛依頼等(薩本副会長)

協賛 7 件、後援 2 件、計 9 件を満場一致で承認した。

(2)会員制度改革(高村副会長) 会員増を目指した方策案を継続審議とした。

### 【報告】

#### 1. 退会申出者及び会員現況報告(薩本副会長)

退会申し出者 17 名、会費未納による特別措置退会候補者 35 名等、会員の現況について報告があった。

#### 2. 支部関係 (各支部長)

各支部より、活動実績と予定について報告があった。

#### 3. 情報管理委員会 (高橋理事)

部会、若手の会等による活動動画作成状況、及び順次HPに掲載予定であることが報告された。

#### 4. 国際交流委員会 (赤塚会長、吉川理事)

第 75 回大会の国際交流セミナーの開催、アジア家政学会 ARAHE2023 大会の特別記事の作成について報告があった。次回 ARAHE2025 大会はフィリピンで開催すること、2023 年からの新役員について紹介された。

#### 5. 家庭生活アドバイザー資格認定委員会(藤井副会長)

第 7 期家庭生活アドバイザー資格認定研修会の開催及び、資格認定試験の実施等について報告があった。

#### 6. 「日本家政学会の SDGs ポジション・ステートメント」特別委員会(赤塚会長)

活動への感謝と、事業成果および委員会の設置期間が終了となったことについて報告があった。

#### 7. 生活科学系コンソーシアム(藤井副会長)

2024 年 3 月に博士論文発表会を開催予定と報告があった。

#### 8. 生活やものづくりの学びネットワーク(川端理事)

「公開フォーラムものづくり教育再発見」の 9 月 30 日開催について報告があった。

#### 9. その他

(1)公益信託家政学研究助成基金(薩本副会長)

(2)森永奉仕会研究奨励金・森永奉仕会賞(薩本副会長)

各公募案内について報告があった。

(3)J-STAGEオープンアクセス化(薩本副会長)

今後の学会としての対応について報告があった。

(4)その他(今川監事)

第 6 回家政学夏季セミナー後の参加者と視察先との交流について報告された。

以上